

青年部17春闘支社長要請行動を行う！！

地本青年部は、本日13時より各支部青年部の代表者と共に「17春闘支社長要請行動」を行いました。要請行動の冒頭、青年部長が要請文を読み上げ、各職場で働く青年部員の切実な声を支社幹部にぶつけてきました。

- ・職場で働いている青年部員は我慢の限界だ。若年退職が止まらない、さらに中堅層の退職も発生している。
- ・鉄道事業が黒字決算の見込みなら、目に見える形で還元すべきである。それがベアである。
- ・新採2年停止により会社の基礎体力は低下したままだ。運転士では休日出勤が常態化、駅では支店や指令に2～3年で転勤し、これでは技術継承も出来ない。検修、特に広島車両所では要員不足の中、自転車操業状態で職場は疲弊し若手社員に元気が無い。保全も大変なことになっている。と、職場の現実を突きつけました。

また各支部青年部代表者からは、各職場で発生している問題点の改善を訴えました。

青年部員の声は、社長に上申するが…

これに対し支社幹部は、

- ・皆さんの頑張りに感謝する。鉄道事業黒字化すれば社員に還元すべきと考える。引き続き業績を上げ、人への投資を行い、好循環のスパイラルに乗せたい。しかし今年度は鉄道事業黒字の結果を出さないといけない。
- ・継続的な新規採用のため、30年度採用に向け現在高専学校回りをやっている。広域転勤の解消のため地元採用が必要な認識はある。だが広島・金沢地区は苦戦している。と答えました。

さらに青年部から、

- ・貨物会社の将来を考えると人への投資は絶対に必要だ。
- ・モチベーションを高めなければ、新中期経営計画・29年度事業計画にも協力できない
- ・ベースアップの実施と格差の是正、新規採用の充実をはかるべきだ。
- ・職場の青年部員の悲痛な思いであり今年の春闘は今までと違う！取締役支社長の立場から、しっかりと田村社長に上申されたい。

これに対し支社長は、

- ・取締役支社長として、本日の青年部の思いをしっかりと受け止めた。社長へ話をする。と回答しました。

地本青年部は、“支社長の意思として社長に訴えること”を確認し、要請行動を終了しました。

青年部員の皆さん！！

これまで私たちは17連続ベアゼロの中、職場で鉄道事業部門黒字化のために汗を流し、時には血をも流してきました。今度は会社が応える番です！！私たちは職場から怒りの声をあげ、ベアの実施、諸要求の実現に向け、17日の回答指定日まで職場から“熱い闘い”を創っていこうではありませんか！！